

鐵工所にアルバイトとして連れ出され、工場の仕事を経験した。溶接、階段の組立など。きっとセンスが無かつたのだろう。「お前は図面や現寸だな」と親父に言い捨てられたことを覚えていた。数か月後、私は鐵工所に正社員として就職し、親父の進言通り設計課に配属された。私が担当する物件では、決まって親父が現寸を担当した。ふと気づくと、職員が図面を手に代わる代わる親父

に相談にきている。親父に何故なのか尋ねると「お前の図面には必要な情報が足りていない。お前に聞いても中途半端な答えしか返つてこないから俺に聞きに来る。お前は構造図しか読んでいない」

談流暖流 2

工事関係者としての意識

永山 和志

いだろ？ 意匠図を読み込まないとダメだ。俺の仕事を増やすな」と咎められた。私は「そんな事を教わってねえ」の言葉を飲み込んで席に戻り、意匠図を手に取つた。もの凄い情報量に目眩がした。

一連のやり取りを見てく受け流してしまつた。場が凍り付いた際の工事関係者の顔が強く印象に残つてゐる。皆真剣に、建物に向き合つていた。親父と上司の教えの大切さをその時になつて痛感した。

（エスディーダブル／ビムテク社長）

20歳のとき、私は都内の13階建ビルを担当した。所長が前面に立つて差配するとしても活気のある現場だつた。プロジェクト中盤の設計打合せの際、鉄骨と他工種との納まりをどうするかで議論が始

いた上司が「先ずは意匠図を読み込み建物を理解する。その後構造図を読み込み、作図をしなさい。その部材が何のためにあるのか、何が必要なのか理解する事が大事だ」。私はこの教えを軽

いるのか理解が追いつかず、まともな返答ができなかつた。一瞬で場が凍り付いた。「ドン！」と所長が机を力いっぱい叩いた。「一工事者としての意見を聞く場だ。出で行け！」その後、所長から会社に対し、私を担当された。場が凍り付いた際の工事関係者の顔が強く印象に残つてゐる。皆真剣に、建物に向き合つていた。親父と上司の教えの大切さをその時になつて痛感した。

（エスディーダブル／ビムテク社長）

何でもこなす鉄骨職人だつた。その日の仕事が現寸であれば、私を広い現寸場で遊ばせられると思つたのであつた。嬉しかつた。現寸場は走り回ることができるほど広く、天井クレーンの振動で走つた足音も気にならない。

現寸は床に墨を打つ床書き現寸だ。私の任務は墨糸を押さえるだけの簡単な作業だつたが、一生懸命に手伝つた。その夏以降、学期節目の私の楽しみになつた。ある時はガムをハサミでカットして行く任務を命ぜられた。

何よりも大好きな親父と一緒に心躍つた。一人で遊ぶのは直ぐに飽きる。親父との間合いを詰める。「手伝つてみるか？」作戦通りに事が運ぶ。当時はCADが無く、図面はドラフター、

談流暖流 1

「父さんと会社に行くか？」小学生の夏休みの朝、鍵つ子だつた私に親父が声を掛けた。仕事の邪魔になることを承知で連れ出してくれた。親父は鉄骨一筋で、図面、現寸、組立、溶接、鳶まで

端つこは斜めにカットしたり丸くカットしたり違ひがある。親父に何故か尋ねると、昼休みに工場に連れていかれ、組立中の製品を前に説明を受けた。そんな時間を重ね、物心つく頃には鉄骨の仕事が身近な存在になつて

来を案じていていたのだろう。鉄工所での仕事は想像できたので、軽い気持ちで引き受けた。まさか30年後も鉄骨に携わるとは思つてもみなかつた。

（エスディーダブル／ビムテク社長）

私は鉄工所勤務6年目で独立した。親父は「お前にできるのか？」と何

年も何年も死ぬ直前まで心配していた。心強い支援者のお陰で、方々の鉄工所と繋がることができた。当時はどこも仕事が薄いなか、幸いにも私は可愛がつていただけた。

法人化も果たした頃、メディアでも話題になるような大型案件を任せていただける機会に恵まれた。建物は複雑で、大手建設会社の施工、製作ファブ6社が関わる大変難易度の高い案件だつた。意匠

弊社だけでは対応しきれなかつた。ファブを含む同業者数社の支援を受けた。多くの関係者に苦労を掛けてしまつた。今でも関係者には深く感謝

できる。どこに何があるのか、何が起きているのかが視覚的に分かる。建物が明確に理解できる。弊社事業が鉄骨施工図とBIMの両輪となつた。

現在、私の会社は設計者・施工者とファブの間

に立ち、図面作成含め情報を取り扱う事が主な業務となつてゐる。経理を担当している妻には会社設立当初から、経営を支えてもらつた。そして多くの優れた社員に恵まれ会社も大きく成長してゐる。

毎日が感謝の気持ちでいっぱいだ。毎月、親父が眠る墓に手を合わせ報告している「心配ない」。

この経験を通じて、情報発信と管理の難しさを痛感した。鉄骨業界でBIMが話題になり始めていたのもこの時期だ。調

べてみると、仮想空間に建物を3D構築し、建材の属性も付与することが

できる。どこに何があるのかが視覚的に分かる。建物が明確に理解できる。弊社事業が鉄骨施工図とBIMの両輪となつた。

現在、私の会社は設計者・施工者とファブの間

に立ち、図面作成含め情報を取り扱う事が主な業務となつてゐる。経理を担当している妻には会社設立当初から、経営を支えてもらつた。そして多くの優れた社員に恵まれ会社も大きく成長してゐる。

毎日が感謝の気持ちでいっぱいだ。毎月、親